

大阪府「がん検診に行こう！」キャンペーン実施事業費

R7当初要求額：6,000千円
(がん対策基金)

【現状】

- ①大阪府の受診率はコロナ禍の落ち込みから回復傾向にあるものの、依然として全国と比較しても低位。
- ②第4期大阪府がん対策推進計画を策定する際に、がん検診の認知度を把握するため、おおさかQネットを活用したところ、約30%の府民が、胃がん・肺がんの検査内容を「がん検診」と認識していない結果となった。

【課題】

- ①がん検診を受診しない理由を、アスマイルのアンケートで調査したところ、「費用がかかるため経済的に負担」と回答した府民が多く、安価で受診できることが周知できていない。
- ②人間ドックは受けているが、がん検診を受診していないという誤解が多い。

対応策

連携企業等と協力し、啓発活動を実施

- ・メディアや連携企業等と協力し、大規模なPRイベントを実施する。
- ・がんについての基礎知識と予防の方法などをはじめ、がん検診の大切さについて理解を深めるセミナー及びブース出展を実施。

イベント内容	効果
がんについての基調講演	医師から講演してもらうことで、がん検診の必要性に説得力が生まれる
トークセッション (専門家、タレント、MCとのトークで、分かりやすくがん検診の大切さを伝える)	がん検診に関心がない場合でも、タレントからのメッセージで興味を持つ可能性が高い
企業によるブース出展	資生堂、グンゼ等連携協定を締結している企業に加え、がんに関連する企業と連携したブースを出展し、がんについて府民に興味を持ってもらう

大阪府「がん検診に行こう！」キャンペーン実施事業費

【イベント内容案】

プログラム① がんについての基調講演:15分
(がんの基礎知識を分かりやすく解説)

プログラム② トークセッション:45分
(専門家、タレント、MCとのトークで、分かりやすく
がん検診の大切さを伝える)

ブース出展 資生堂、グンゼ等連携協定を締結している企業に加え、がんに関連する企業と連携したブースを
出展し、がんについて府民に興味を持ってもらう

- 開催日:令和7年9月(週末)
- 場所:大阪府内
(例:ハルカスのウイング館9階催事場等)
- 対象:がん検診に無関心な府民

出演者の候補(案)

プログラム①
「がん」って知ってる?
(基調講演・15分)



テレビでおなじみの東大病院・
中川恵一特任教授に、がんの
基礎知識について分かりやす
く解説していただきます。

プログラム②
「がん検診」についてのトークセッション。
専門家の先生とタレント、MC とのトーク



伊原六花
(タレント)



サバイバー
阪神・原口文仁
(大腸がん)

ブース出展



(案)

- ◆資生堂:スキンケア体験
- ◆グンゼ:乳がんしこり体験
- ◆アピアランスケア体験(ウイッグ試着等)
- ◆リンパマッサージ等